発明届出書

緑字は例示です。提出時に削除ください。

提出日：　　　　年　　月　　日

国立大学法人

東京工業大学長　殿

届出者：所属

職名

氏名

内線

メールアドレス

この度、下記の発明をしましたので国立大学法人東京工業大学発明規則第4条の規定に基づき届け出ます。

|  |  |
| --- | --- |
| **1.発明の名称**  ＊仮称で構いません |  |
| **2.発明内容**  ＊本発明が既存技術に比した場合の改善点、新規性を含めて記載ください。  ＊欄を広げる、別紙を添付する、本Wordファイルの最後に枠を外して記載する等、記載しやすい方法で記載いただいて結構です。 |  |
| **3.発明者**  ＊本届出書提出者を含めて記載してください。  ＊ＲＡではない学生が、本人の自由意志で、権利を東工大に譲渡する場合は上段に、譲渡しない場合は下段に記載してください。  ＊発明者の追加や寄与分の変更があった場合は、発明届出書を差し替えますので、再提出してください。 | **東京工業大学 発明者（ＲＡ学生（在学中に発明した卒業生を含む）を含む）**  氏名（所属・職名（学年））と、学内での発明への寄与率　　**この欄の計＝100％**  　＊特任教員、研究員などの有期雇用職員とＲＡは、雇用されているプロジェクトなどを記載 |
| 〇〇 〇〇（〇〇学院　教授）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　４０％  〇 〇〇〇（〇〇研究所　特任助教、JST〇〇プログラム）　　　　　　 ３０％  〇〇 〇〇（〇〇学院〇〇コース　修士2年、JST〇〇プログラムＲＡ） ２０％  〇〇〇 〇（〇〇学院〇〇コース　修士１年、権利を東工大に譲渡） 　 １０％ |
| **学外発明者がいる場合（発明当時の所属を記載ください）　この欄の計＝100％**  学外発明者の権利が所属機関に承継される場合は法人名（個人の権利の場合は個人名）と発明への寄与率**(権利持分ではありません)**、及び、連絡窓口となる方の連絡先 |
| 〇〇〇株式会社　　　　　　　　３５％ 　　　 \*\*\*\*\*@\*\*\*.co.jp 〇〇様  〇〇〇〇大学　　　　　　　　　２０％　　　　 \*\*\*\*\*@\*\*\*.ac.jp 〇〇様  〇〇 〇〇（個人）　　　　　 １０％ \*\*\*\*\*@gmail.com  東京工業大学の発明寄与率　　　３５％ |
| **4.本内容の発表** | □既発表の箇所あり　　　□発表予定有　　　　□未発表で発表予定無 |
| 既発表・発表予定の場合　　発表（予定）年月日と発表形式・発表先（学会名・論文名） |
| **5.発明内容の大学業務との関連**  ＊いずれかにチェックしてください。 | □大学における業務（研究）の成果  　　＊大学の装置・設備（PCを含む）を使用したものは、大学業務の成果  □大学により承認を受けた兼業先／（有期雇用職員の場合）別の勤務先での業務成果  □前職／異動先（機関名：　　　　　　　　）における業務（研究）の成果  □何れの勤務・業務にも関係しない発明 |
| **6.発明に使用した研究経費**  ＊該当するもの全てにチェックし、②～⑨に該当する場合は、制度名、相手先名、研究課題名等を下段に記入してください。国からの委託研究の場合、出願報告の義務等が課せられていますので必ず記入してください。 | □①国から交付された運営費交付金  □②大学が経理を管理している個人に対する研究助成金(科学研究費助成事業等)  □③受託研究契約に基づいて大学が受け入れた研究経費  □④企業等との共同研究契約に基づいて大学が受け入れた研究経費  □⑤企業等への学術指導契約に基づいて大学が受け入れた指導料  □⑥大学が寄附を受けた資金（奨学寄附金等）  □⑦その他、大学が外部から受け取った資金  □⑧JST等の事業として外部団体が直接資金を管理し支出するが、研究は大学内で行われる場合の当該研究資金  □⑨上記のいずれの経費も使用していないが、他機関との契約に関係する。  □上記のいずれの経費も使用しておらず、何ら契約に関係しない。 |
| ○年○月～　○○株式会社、「○○研究」  ○年度、○○省、○○事業、「○○研究」  ○○株式会社からのサンプル提供契約　○年○月 |
| **7.特記事項**  ＊既に実施予定企業と話をしている、本件を実施するベンチャーを創立予定であるなど、何かあれば記載してください。  ＊本届出書の提出者が、「本発明創出には関わりのない企業で、本発明に興味を持つに違いない」と思う企業があれば、記載ください。 |  |